



樹蔭静けさ

北海道帯広三条高等学校
〒080-2473
北海道帯広市西23条南2丁目12番地
TEL : 0155 (37) 5501
発行日 令和7年1月31日

新学習指導要領に対応した初の共通テスト無事終了

1月18・19日の両日にわたって共通テストが行われ、本校からは151名の生徒が受験し、全員が無事に終わることができました。受験生の皆さん、そしてご家族の皆様、本当にお疲れ様でした。

本校では予備校等からの情報をもとに進路検討会を25日に開催しました。その中で全体の入試動向を踏まえ、受験した生徒一人一人について状況を確認し、様々な可能性を模索しながら受験校を検討しました。この内容を元に受験校選択の指導を行っています。

新明匠進路指導部長は本校生徒の状況について次のように述べています。「今年度は新学習指導要領になって初めての共通テストであったため、不安を覚えた生徒もいたかと思いますが、生徒各自が精一杯取り組み、結果を出していたようです。特に文系科目については手応えを感じた生徒も多かったと聞いています。国語や数学②は試験時間が10分延長となりましたが、普段の実力を十分出せたのではないかと思います。

国公立大入試では、前期だけでなく中・後期も積極的に出願することで多くのチャンスが生まれます。ぜひ最後まで粘り強く努力を継続し、合格を勝ち取ってほしいと思います。私たちが講習や面接・小論文



【2次試験対策に励む生徒たち】

指導を通して、全力でサポートしていきます。」

なお、国公立大の出願は2月5日(水)までとなっています。また私立大の受験も既に始まっています。受験生の皆さんにエールを送ります。フレー！フレー！三条!!



全国高校スピードスケート選手権 女子学校対抗で3連覇・男子も2位

インターハイ・スピードスケート選手権大会が21～23日に岩手県盛岡市で開催されました。女子500mで奥秋静子さんが優勝、女子2000リレー（奥秋・熊谷しゅう・竹田真穂・山田怜歩）、女子パシュート（小島楓・西川想乃・奥秋）でも優勝し、圧倒的な強さで学校対抗3連覇を果たしました。奥秋さんは1000mでも2位、山田さんは1500m 2位、1000mで3位、小島さんが3000m 3位を獲得。男子は日下賢将さんが1500m 2位、男子1万mで黒坂快斗さんが2位、男子2000リレー（佐藤敦・吉田詠喬・三瓶煌泰・日下）が2位となり、学校対抗でも2位を獲得するなど、男女ともに三条スケート部は大活躍でした。

(団体競技での敬称を略させていただきました)

三条生が企画「ちびっこホワイトフェス」開催



「麦音ちびっこホワイトフェスタ」が26日開催されました。これは地域探究の授業の中で「これまでは夏のイベントが多く、冬にも開催できたら」と2年生の佐藤奈津美さん、釜谷奈々子さん、北嶋那央さんの3人が企画し、満寿屋商店麦音さんと本校地域コーディネーターの長岡さんの協力を得て実現したものです。当日は9名が運営に当たり、多くの子どもたちがスノードーム作りや絵本読み聞かせ、パン食い競争などを楽しみました。

の校外展に300名を超える多くの方が足を運んでくださいます。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

書道部校外展開催

毎年恒例の書道部(飯尾真央部長、部員21人)の校外展がこのほど開催されました。

様々な大会出品作品を中心に、創作も加えた1年の集大成として

節電運動結果
今回は昨年度よりも若干使用量が増えましたが3年前よりは下回っています。こまめに電気のスイッチオフをお願いします。

	12月
一昨年度	19,094kWh
昨年度	20,170kWh
今年度	21,198kWh

第43回 2年4組担任 米谷正樹 教諭

いつか英語が必要な時のために今単語は覚えよう！

◇「飛行機に乗れない!？」海外でピンチ

6・7年前のことです。私用で台北（台湾）経由、香港行きの往復チケットを購入しました。その方が直行便より安いのです。トランジットのために台北に着いたのですが、香港には超巨大台風が接近とのニュースが流れていました。当然のようにフライトはキャンセルとなり、翌日の便に回されました。ところが翌日もニュースで香港の大変な状況が報道されていたので、明日香港に行ったとしてもすぐに引き返さなければいけないので香港行きは諦めました。香港行きの便をキャンセルし、そのまま台北に滞在し、帰りの台北から日本に帰る便に乗ることにしたのです。

さて、予定の便に乗ろうと手続きをしようとするのですが、何度やってもうまくいきません。自分の名前では受け付けてくれないのです。カウンターに行き直接確認したところ、往復チケットは途中の便をキャンセルすると、それ以降の便は全てキャンセルされるというのです。そうすると正規料金となり大変な費用負担となります。お金はかかるし、予定通りに帰れないとなると大変です。私は必死になって、キャンセルの仕組みがわかっていなかったことや台風の状況から自分ではどうしようもなかったことなどを何度も説明しました。初めのうちは「だめです」の一点張りだったのですが、私の必死さが伝わったのか、相手にしていられないと思ったのか、とにかく上司につないでくれました。次に来た人も全く同じ反応でした。それでも必死にくりかえしました。そういうことが数回繰り返され、今回だけは特別に許すと飛行機に乗せてもらったのは、出発の5分前。

このやりとりは全て英語でした。英語をやってよかった、とその時ほど思ったことはありません。

◇とにかく毎日英語に触れることが大事

英語習得の道に近道はありません。とにかく毎日英語に触れることが大事です。NHKの教材にもとてもいいものがありますし、今はオンライン

で学ぶ方法が色々ありますので、ぜひ試してみて、自分に合ったものを見つけてほしいと思います。

今はグローバルな時代です。現時点ではそれほどでもないかもしれませんが、どこかのタイミングで英語を学ぶ必要に迫られたり、自分で英語を学びたいなあと思う時が来ることがあると思います。その時のために、高校生の今、単語だけはしっかり覚えておいた方がいい、と私は生徒たちに話しています。単語を覚えるのは本当に大変です。若くて記憶力の優れている高校生のうちに覚えておくといいです。今はどんなに面倒くさいと思っていなくてもね。

◇世界には面白い人がいっぱいいる！

自分の高校生の時と比べると、今の高校生（と言っても三条生しかよく知らないのですが）は、相手のいい所を見つけて褒めあったり、お互いに配慮しながら話し合う姿勢があつて素晴らしいと思っています。これからは今以上にグローバルや多様性が進んでいくでしょうから、相手を尊重する態度がより求められるものと思います。三条の皆さんも今の姿勢をより向上させて広い世界に飛び出してほしいと思います。世界には面白い人が沢山います。色んな人に出会って、色んな話をして、相手のいい点を見つけて認め合うことで、自分を磨いてほしいと思います。その一方で、自分のやりたいことや譲れないものがあつたら貫く姿勢をもってもらえれば言うことなしです。

私自身も英語を学び続けることを貫く覚悟です。教師は絶えず学び続けることが求められています。私自身が学び続ける姿を生徒に見せることで、何かを与えることができるようにこれからも研鑽を積んでいきたいと思っています。



インタビュー

きらり

ハンドボール新人戦で全道準優勝

女子ハンドボール部 キャプテン 2年2組 堤 悠羽 さん



全道ハンドボール新人戦で見事、準優勝となった女子ハンドボール部のキャプテンである堤悠羽さんにお話を伺いました。

札幌北陵高校との決勝戦は1点及ばず惜敗でした。その試合を振り返ってもらいました。「今まで練習試合で何度も対戦しているチームでしたから、負けてしまったことは本当に悔しい気持ちで一杯です。私たち2年生がチームの雰囲気をしっかり作っていきなかつた結果だと思っています。全国出場を果たすために、私自身も含めて改めて笑顔で声を出して支え合っているチームにしていきたいです」と悔しい思いをにじませながらも、来年への強い決意が感じられました。

堤さんは中学時代はサッカー部だったそうで、ハンドボールは高校から始めたそうです。お母さんの知人から「三条のハンドボール部は厳しいけれど楽しく活動しているよ」と教えられ、入学後の体験入部でその通りだと実感したそう。初心者からでも本気で全国を目指せる部活動だということにも強く惹かれたそうです。「実際、色んなスポーツをやっている

三条高校で輝いている生徒を紹介します。インタビュアーは校長です。

人たちが入部していて、その経験がしっかり生かせる所も魅力の一つかもしれません」と堤さん。「野球をやっていた人は肩の強さを生かして得点を取る役割に自然となっていくます」。彼女自身はサッカーのDFの経験がハンドボールでも生きていくと言います。「ただ、ハンドボールは展開が早く、5点の差は決して安全圏ではありません。流れを渡してしまえば簡単にひっくり返ってしまう競技なんです。だから最後まで本当にわからない、ドキドキワクワクのスポーツなんです。それこそがハンドボールの魅力だと私は思っています」と楽しそうに話してくれました。

部の雰囲気はとても仲が良く「家族のよう」なんだとか。みんなで和気藹々と楽しく練習をして、ちょっとダメな方向に流れるとみんなでダメだよと言い合えるのだとか。それでも全体がゆるんだりと、顧問の橋本先生がしっかり指摘してくれる、そんな部活動なのだそう。「キャプテンとしてふがいない私をみんなで支えてくれています。本当に感謝しています」。

来年度、自身最後の高体連全道大会はよつ葉アリーナ十勝が会場。「皆さん応援お願いします」と言った後、「決勝戦に勝ち進んだら全校応援してくれないかな」と笑う堤さん。頑張ってください。全力で応援します！

